



氏 人 織 山 青

芸文財団 理事長に青山氏

民間から登用 情報開示徹底へ

松本市芸術文化振興財団の評議員会・理事会が29日に開かれ、新理事長に、学校法人未来学舎理事長の青山織人氏(76)＝平田西1＝が就いた。28日付で理事長を辞任した前松本市副市長の坪田明男氏(79)＝反町＝の後任で、平成25(2013)年4月に公益法人制度改革で一般財団法人に移行して以降、民間から初の登用は初めてとなる。任期は2年間となる。評議員会で理事の坪田氏の退任と青山氏の選任が承認され、理事会で理事長に互選された。

た。あいさつで、青山新理事長は「原資が公金なので公益財団並みの情報開示が必要だ。説明責任を果たし、市民の共感や支援を得たい。嘱託職員の処遇改善に取り組み。やりがいを持たせる職場や将来に不安のない経営体質が求められる」と述べた。

青山氏は平成12年(2000)に市教育委員を2期8年間務めたほか、市音楽文化ホールの友の会・ハーモニーメイト会長、国際音楽祭を裏で支えるSKF松本ボランティア協会の会長、まつもと歌舞伎実行委員会の市民活動委員会長の会長を歴任した。今春の市長選挙では臥雲義尚市長陣営で選対本部長を担った。

事務局の市文化振興課によると、理事を実務者の「長」としてこれまでの副市長が理事長を務めてきたが、民間感覚の導入で市民目線による一層の文化振興を理由に、臥雲市長が「青山氏が適任」と提案した。同財団は市が基本財産の3000万円を100%出資している。6人の理事は、青山氏以外は市職員と市職員OBとなっている。(瀬川智子)